

SPICE

くまにち すぱいす

388号

2017年10月6日
spice.kumanichi.com

発行/熊本日日新聞社

日本ABC協会加盟紙



地域を
活性化したい
人たちを応援!

地域の
絆づくりの
お手伝い

地域の“元気”をサポート! まちづくりセンター

熊本市が、今年4月から新たに設置した「まちづくりセンター（以下、まちセン）」をご存じですか？ 少子高齢化や人口減少が進む中、地域の持つ力をもっと引き出すため、市内17カ所に設置。そんな「まちセン」は、何をするとところで、どんなときに利用すればいいのかをご紹介します。



市民の
“よろず相談所”



CONTENTS

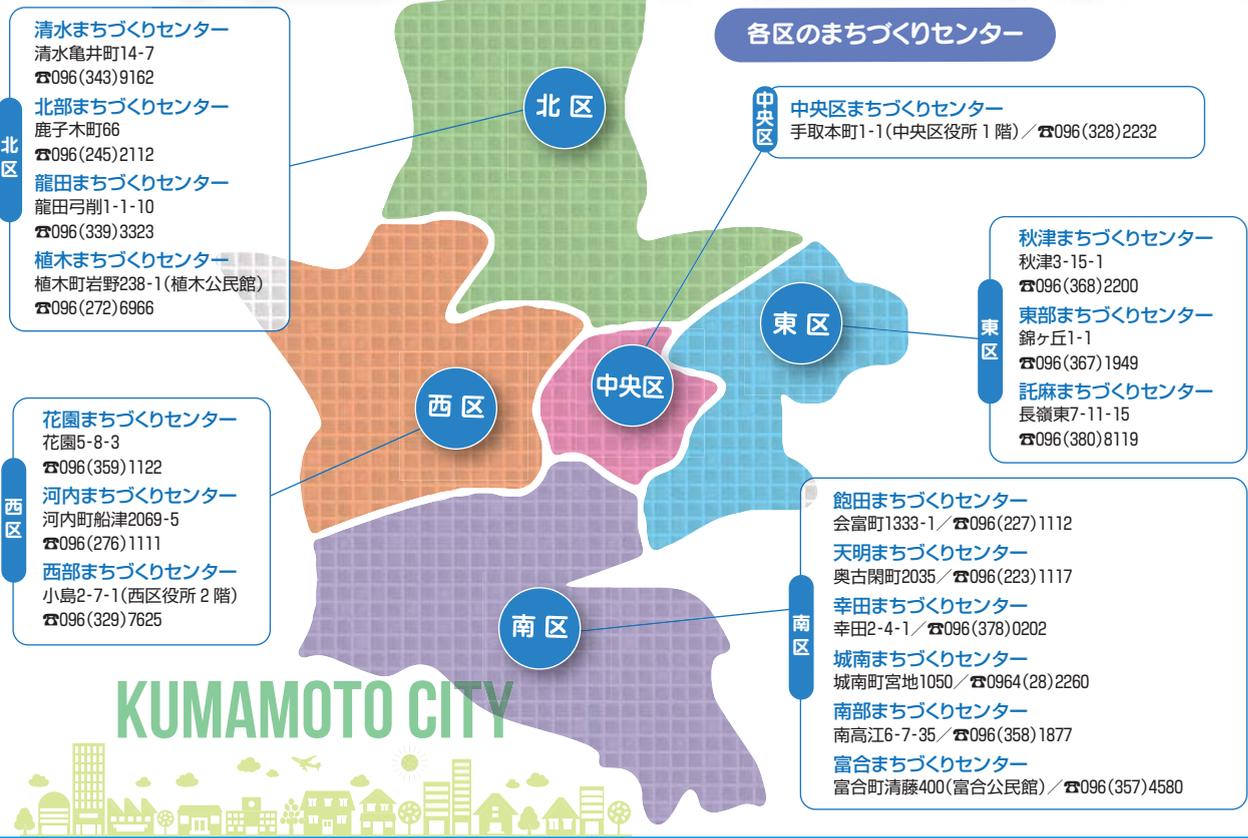
- 9. 「すぱいすフォーカス」
元気が戻った健軍へ行こう!
- 11~14. 「秋のレジャー特集」
県内外のお出かけ情報が満載
- 16~17. 「城下町くまもと銀杏祭特集」
街なかでグルメやイベント楽しもう
- 23. 「麺's spice」
“ガツンと系”濃厚豚骨ラーメン
- 27. 「街かどHAPPY♥図鑑」
幕末・戦国好き必携のスゴイ手帳
- 30. 「ピンクリボンプラス」
知っておきたい乳がんの基礎知識

※紙面の価格表記は税込価格、㊦は通常価格、㊧はメーカー希望小売価格です。

熊本都市圏に30万3000部ポスティング!
配布に関するご要望・お問い合わせは 熊日輸送センター ☎096(361)3255

地域で暮らす人たちの

自主的な“まちづくり”を支える！



専任の「地域担当職員」が支援

今年4月から活動を始めた「まちづくりセンター」。市内に17カ所ある各まちセンには、総勢49人の専任の「地域担当職員」がおり、地域の身近な困りごとの解決や、まちを盛り上げる取り組みなどをサポートしています。また、市民や地域に役立つ行政情報を紹介したり、必要に応じて市役所の部署と調整したりするのも、まちセンの役割です。

こうした活動を通じて、少しずつ、地域の持つ「おたがいさま」の力を引き出すことが、まちセン設置の狙いです。ぜひ皆さんも、「これってどこに相談すればいいの?」という地域の課題を、地域担当職員に気軽に相談してみませんか!

こんな相談は、まちセンへ!

- 健康増進イベントを実施したいけど、何から始めればいいの?
- 自治会って、どんな活動をしているのか教えて!
- 防災に強いまちづくりをしたい。地域でできることは?
- 防犯対策を強化したい。他校区では、どんな取り組みをしているの?
- 地域の魅力的なお祭りをもっとPRしたい



地域担当職員とのランチタイムミーティングで、生の声に耳を傾けます。

「まちセン」設置を進めるき

行政と住民が協力し合って地域の持つ潜在的な力を引き出していくことが必要だと感じました。このことが「まちセン」設置を進めるき

また、地域が抱える課題や悩みの相談窓口になることも重要な役割。設置以来、「まちセン」には1200件近い相談が寄せられ、うち約70%が解決されるなど、成果も上がっています。今後は、広報活動を通して多くの

「なぜ「まちセン」を設置したのですか。」

2014年に市長に就任した当初、市職員と地域住民との接点が意外と少ないと感じました。もちろん、職員は市民のために頑張っているし、市民の皆さんは自分の住む地域を良くしたいと願っているのに、互いにそれがうまく伝わっていない。もっと相互理解を深め、行政と住民が協力し合って地域の持つ潜在的な力を引き出していくことが必要だと感じました。このことが「まちセン」設置を進めるき

「まちセン」の役割や今後の展開は。

まちづくりで大切なのは行政と市民が「おたがいさま」で支え合えること。地域の皆さんが「自分たちの住む地域をより良くしよう」と取り組んでいることを「まちセン」が支援し、結果として地域力アップにつながると思います。

また、「まちセン」を通して、市職員が住民の思いや地域のニーズをしっかりと把握した上で施策を展開することが、市民の満足度向上につながるの思いもありました。ですから、「まちセン」の地域担当職員には、「ごんごん地域に飛び込んでいってほしい」と話しています。

「まちセン」を通じて市民と行政が互いに理解を深め、協力し合いながら「地域の力」を高めていきたい!

市民の皆さんも、ぜひ「まちセン」を活用してください!



大西一史熊本市長インタビュー

就任当初から、「行政(市)」と「地域(市民)」の「橋渡し役」として、まちづくりセンター設置を提唱していた熊本市の大西一史市長に、その目的や市民がまちづくりに参加する意義などについて聞きました。

まずは地域の地理を
隅々まで覚える
ことから！

北部まちづくりセンター
主幹 北野伊織さん

地域の皆さんの自主的なまち
づくりの“黒子”に徹するのが、私
たちの役割だと思っています。常
に「住民に寄り添う」というスタ
ンスを大切に活動しています。
趣味は、バイクでのツーリング
(なかなか行けません…)。



8:30 朝礼



その日の予定などを報告。さらに、外
回り(外勤)に出るまでのわずかな時
間も資料作成などに有効活用！

10:00 外勤に出発！

この日は、予定が盛りだくさん！ 細かい
打ち合わせなどは、移動中の車の中で。



10:15~12:00

とにかく
いろいろ！



熊本地震で被害を受けた神社
の補助金申請のための現地確
認や、北区役所でのさまざまな
打ち合わせ、土木センターに依
頼したごみ撤去の確認などな
ど、次々と予定をこなす北野さ
んと林さん。



密着！

地域担当職員の日

まちづくりセンターのさまざまな活動を担う「地域担当職員」。地域に
飛び込み、地域の人たちとの交流を深めながら、住民が“主役”のまちづ
くりをサポートするのが彼らの役割です。そんな地域担当職員の仕事ぶ
りを知るため、北部まちづくりセンターの北野さんと林さんの一日に密
着！ 地域のために奔走するお2人を追いました。

予定の変更は
日常茶飯事。
臨機応変に対応！

北部まちづくりセンター
主幹兼主査 林 伸俊さん

住民の皆さんからの相談事には、
できるだけ「できない」と答えな
いようにしています。徐々に地域の方
々との信頼関係も築けて、最近は
少しずつ相談も増えています。休
みの日は、消防団活動や子どもの
部活の送迎で大忙し(汗)。

18:30~ 会議に出席



まだまだ終わらないお2
人の一日。再度合流し、西
里校区の「認知症徘徊声
かけ模擬訓練」の第1回
企画会議に出席するため、
西里地域コミュニティセン
ターへ。会議が終わって帰
宅の途についたのは、21時
近く…。お疲れさまでした！

13:30~ 北野さん、会議に出席
林さん、イベント会場の下見



午後は二手に分かれ
ての業務。北野さんは、
北部まちセンで月に
1度開かれている「北
区地域担当者連絡会
議」に出席。林さんは、
開催予定のイベント
会場を下見するため、
熊本保健科学大学へ。

人と地域と行政をつなぐ 週刊マガジン
まち・ひと
つながる

10月13日号から毎週
“まちづくり”に関する
情報を発信！

次週10月13日号から毎週、熊本市まちづくりセンター
通信「まち・ひと つながる」を連載します。熊本市各区の
まちづくりに関する情報はもちろん、まちを元気にしよう
と取り組んでいる人たちの生き生きとした姿や熱い思い
を、紙面を通してお伝えします。お楽しみに！

10月13日号予告

富合町の悲願！
コミュニティセンター
建設へ

まちづくりセンター紹介
第1回
「中央区まちづくりセンター」



ただいま絶賛、取材中！



「まちセン」への思いを熱く語る大西市長。
「『話が長くなるように』と、いつもくま
を刺されるんですよ(笑)」と話すほど

市民に「まちセン」を知っ
てもらい、これまで地域活
動に縁のなかった方々にも
参加してもらいたいですね。
昨年の熊本地震によって、
皆さんが「助け合い」の大
切さや尊さに気付いた今こ
そ、「新しい熊本市」に向け
たまちづくりを進めるチャ
ンスと捉えています。

「まちづくり」に参加
する魅力は。

面、楽しいことも多い、
たくさんの人と関わる中で
新しいつながりも生まれま
す。まちづくりは新たな発
見や出会い、そして気付き
の場。それによって、今以
上に自分の住むまちや、そ
こに住む人のことを愛する
気持ちが強くなります。
まだ地域活動に参加した
ことのない方々には、「自
分のできること」から始め
てもらいたい。その第一歩
として、ぜひ地域担当職員
に声を掛けてみてください。
きっと皆さん一人一人に合
った、まちづくりへの関わ
り方が見えてくると思いま
す。